２０１６年度　「住まいとコミュニティづくり活動助成」助成対象　中間報告

団体名

西岬海辺の里づくり協議会

活動のテーマ

茅葺き屋根のある暮らしのサイクルを再生する取組み

活動の対象地域

千葉県館山市塩見地区

活動地域の概要

西岬地区は千葉県館山市中心部から車で 15 分程の距離にある地区です。私たちが活動しているのは西岬地区の中の１つの集落である塩見地区です。塩見地区は千年以上前から続く人口約 200 人の小さな集落で、豊かな海と山に挟まれ長い間半農半漁の里の生活が営まれて来ました。しかし、近年では集落の人口減少・高齢化が進み、住民だけで里の風景や里ならではの営みを維持し続ける事が困難になってきています。里山の景観は山の奥の方から徐々に失われており、耕作放棄地や空き家・空き地も少しずつ増えて来ました。更に、新規移住者が増加しており、新旧住民が分離しているといった課題を抱えている地域です。

団体設立経緯

「西岬海辺の里づくり協議会」は 2009 年、千葉大学が千葉県館山市塩見地区に唯一残る茅葺き民家「ゴンジロウ」を地区の区長さんからお借りした事をきっかけに、地元住民有志、市職員、千葉大学教員、学生をメンバーとして設立された団体です。団体の目標は、”同古民家を拠点として「茅屋根の手入れ」といったケアプロセスを通して多様な協働の場をつくりだし、地域コミュニティに基づく美しい里の景観を維持しながら、新しいコミュニティ運営の形を探る事”です。

これまでも活動拠点である茅葺き民家ゴンジロウのケアから始まって、地元住民と学生が話し合いや里歩きを重ねながら地域の事を学び、現状の課題解決や将来について共に考え活動範囲を集落全体にまで広げて来ました。現在も月に１回程度メンバーが集まり、話し合う協議会を継続して開催しており、積極的に活動を行なっています。

【活動テーマ】
茅葺き屋根のある暮らしのサイクルの再生（継続）

【活動の進捗状況】
今年度前半では、去年度再生候補地として見つけた２カ所の茅場が再生に適していないことがわかり、新たな再生候補地探すとともに、再生実現のため地元住民と学生に加え長年プロジェクトに関わっていただいている**茅職人**の方をお呼びし、**冬の茅刈りに向けた準備**を中心に活動を進めた。
また同時に「ゴンジロウ」が里の“お茶の間”的存在になるよう「ゴンジロウ」を拠点とした交流イベントを開き、学生と地域住民の方との積極的交流を図った。

■ 茅場再生に関する打ち合わせ
＜第１回＞（４月）
今年度の茅場再生の方向性について、地元住民と学生で打ち合わせを行なった。当初今年度の活動計画としていた“昨年度発見した２カ所の茅場の再生”について、２カ所の再生候補地のうち、１カ所（田んぼ跡地）に水がたまっており、茅場の再生場所に適していないことが判明した。もう一カ所の候補地も再生可能かどうかを、一度専門家に見てもらうことにした。
そのため当初の計画を変更し、今年度の活動は

４年前から刈っている**茅場の茅刈りを継続して実施し茅場を維持**すると共に、**新たに再生出来そうな茅場を見つけて**茅刈りを行ない収穫出来る茅の量を増やすこと

を中心に行なうことに決定した。

協議会の様子

＜第２回＞（６月）
茅職人の方をお呼びし、地元住民と学生とで昨年度発見した２カ所の茅場が再生可能かどうかを専門家に判断して頂いた。

茅探検ー新たな再生候補地探し

昨年度発見した茅場

その結果、この２カ所の茅場に生えていた植物は**屋根葺きには適していない植物**であることがわかった。従って昨年度再生の一環として収穫し蔵に刈り貯めてあった茅束も使えないことが判明し、葺き替えは来年以降昨年度の使える茅束と今年収穫予定の茅束で必要数がたまり次第行なうことが決定した。一方で**茅探検により新たに再生可能性のある茅場の候補地を発見**することができた。

＜第３回＞（７月）
茅探検の結果をふまえ、今後再生していく茅場をどうするべきかを話し合った。
これまで屋根の葺き替えに使用していた山茅の茅場は、ほとんどが山に還ってしまい立ち入り不可能になってしまった一方で、耕作放棄地などに新たなに海茅と呼ばれる植物が群生し、新たに茅場を形成していることがわかった。
今後はこの**海茅の茅場を新たな再生候補地とし整備を行なう**と共に、**かつて集落内に存在していた茅場の再発見を今後も継続して行なう**ことに決定した。

新たに発見した茅場

■ 休耕地の再生

昨年度に引き続き、今年度も地元農家の女性から休耕畑の一部を貸して頂き、菜園を運営している。植え方や育て方を指導して頂きながら、分けていただいた長芋、さつまいもの栽培を行なっている。11 月には収穫予定。

■ かや茶会

「ゴンジロウ」をお茶室にし、地元住民の方々をお招きするお茶会のイベント。これまで集落の交流拠点としてのゴンジロウの活用の試みを兼ねた催しとして 2010 年から 2012 年まで過去 3 回行っていた。今年は 6 月末に実施し、地元住民、OB・OG など総勢 40 名以上が参加する大きなイベントとなった。

完成した茶室

お茶席の様子

お茶会後の懇親会

初夏らしい爽やかなしつらえの茶室が完成し、来たお客さまには皆さんに満足して頂けたようだった。
お茶会のあとは料理と飲物を用意した懇親会を実施し、こちらも多いに賑わった。

■ かやぶき夏祭り

地元塩見の夏祭りが行なわれる時期に合わせ、ゴンジロウでも夏祭りを実施した。地元住民の方の所持する山から竹を頂き、それを使った 10m 超の流し素麺のコースを作成し、ゴンジロウの前庭にセッティングした。当日は入れ替わり立ち替わり、様々な方が訪れてくださり、住民と学生が交流する和やかな会となった。

夏の定番 すいか割り

流しそうめん

■ その他の活動

これらの他にも、ゴンジロウ維持管理のための活動として学生を中心とした「ゴンジロウ大掃除」、プロの庭師の方をお呼びしゴンジロウの生け垣や植木の手入れ方法や道具の使い方について学ぶ「ゴンジロウ庭づくり」、ゴンジロウを拠点として利用する活動の一環として「仕事を語る会」を実施した。

【今後の予定】

今年度前半で決定した方針により、かつての茅場の再発見と再生出来そうな茅場の整備を並行して行い、今後の「茅葺き民家ゴンジロウ」での継続的な活動につなげていく予定である。

10 月　蔵掃除（使える茅束の選別、今年度茅刈り前の準備）
11 月　長芋・さつまいも収穫（収穫祭）
1 月～2 月　茅刈り実施予定